

【重要】受験される皆さまへのお願いと CBT 方式試験における注意事項について

1. 次の①～⑤に該当する場合は受験できませんので予めご了承ください。

- ①感染症に罹患していることが判明し、試験期間において、入院中の方は勿論、宿泊療養及び自宅療養の方で、担当保健機関・医療機関などから居宅等の場所からの外出自粛や健康状態の報告等の必要な協力を求められている場合
 - ②感染症発症者の濃厚接触者であることが判明し、試験期間が健康観察期間にあたり担当保健機関・医療機関などより、不要不急の外出の自粛や健康状態の確認等が要請されている場合
 - ③試験当日、発熱(※)、倦怠感、味覚・臭覚の異常、咳などの風邪の症状がある場合
※発熱とは各人の平熱に比較して高い体温を指し、一般で言われている「37.5℃以上」に限定しません。
 - ④受験日の前 14 日以内に海外への渡航歴がある場合
 - ⑤同居するご家族などが、上記①～④に該当する場合
- なお、インフルエンザ等の他の感染症も同基準に準じます。

2. 受験日に必ず持参いただくもの

試験会場の受付にて「本人確認」を行います。所定の本人確認書類を忘れずに持参してください。

1 点の持参でよい証明書 (いずれも顔写真付き)	2 点の持参を要す証明書
・運転免許証 ・パスポート ・マイナンバーカード ・学生証 ・社員証 ・その他公的機関が発行する顔写真付き証明書	・健康保険証(カード) ・社員証(顔写真がない場合) ・学生証(顔写真がない場合) ・マイナンバー通知カード ・住民票(交付日より3ヵ月以内) ・その他公的機関が発行する証明書

3. CBT 方式試験の受験要領の事前確認 (試験会場ではオリエンテーションはありません)

CBT 方式試験は従来型試験のように試験監督者によるオリエンテーションや開始の合図はなく、すべてパソコンの画面上で簡単な説明文章が掲示されます。家電製品協会認定センターのホームページ (<https://www.aeha.or.jp/nintei-center/procedure/examination/>) に本番試験の体験版を設けています。試験の開始や終了の手順なども紹介していますので、必ず事前にご確認ください。

CBT疑似体験版その1
(試験の「開始」と「終了」の要領)

CBT疑似体験版 その2
(試験問題サンプル)

4. 試験当日について

台風など自然災害、あるいはそれに起因する交通障害の発生状況にご留意ください。特に特別警報や各種警報発令時などは「安全第一」で受験可否を判断されるようお願いいたします。

- ・上記のような場合、適宜、家電製品協会認定センターのホームページにて告知します。また、必要に応じて、登録いただいているメールアドレス宛に情報発信する場合がありますので、nintei-info@aeha.or.jpからの情報を受信できるように設定をお願いします。

5. 試験会場での受付

- ・CBT 方式試験は予約した時刻から試験がスタートすることを前提にしていますので、遅くとも所定の時刻の「5 分前」には試験会場(テストセンター)にて受付をすませようお願いします。

試験会場入室待ちでの“密状態”を防止するために、「15分前～5分前」を目安に受付へお越しくださいようお願いいたします。

注) 所定の時間より30分以上早くお越しいただいた場合、会場に入れない場合があります。

6. 受験会場において (新型コロナウイルス感染防止)

- ①必ずマスクの着用をお願いします。マスクを着用されない場合、受験できません。
(本人確認の際は試験監督者の指示にしたがってマスクの着脱をお願いします。)
- ②会場出入口にて備え付けのアルコール消毒液にて手指を消毒してください。
- ③受付で体調確認および検温にご協力ください。
- ④飛沫飛散防止のため、会場内での私語は禁止です。
- ⑤試験中に体調が悪くなった場合は、必ず試験監督者にお申し出ください。また、激しい咳や発熱などの症状が見受けられる場合は試験中断の措置を実施することがありますので予めご了承ください。
- ⑥受付やトイレ等に並ぶ場合、ソーシャルディスタンスの確保にご協力ください。

7. 試験時間の基本ルール

CBT方式試験では、不正防止の観点から、試験開始後は「原則として退室は禁止」というルールになっています。ただし、現下の状況を勘案し、受験者の健康管理上の観点から、次の運用を適用します。なお、試験途中の退室の際は、試験時間を止めることはできませんのでご注意ください。

- ①受験中に体調が悪くなった場合は、遅滞なく会場スタッフに申し出て、その指示に従ってください。
- ②受験中にトイレに行く場合は、会場スタッフに申し出て静かに退室の上、速やかに用を足してください。
必要以上に時間経過した場合は再入室を認めない場合があります。
- ③3科目以上連続で受験される場合は、以下の要領で「用便」、「補水」の時間をとり健康管理に努めてください。

1) 3科目連続で受験する場合の推奨例 (アドバイザー総合の受験など)

科目 A (55分)	科目 B (55分)	休憩 ※1	科目 C (55分)
---------------	---------------	----------	---------------

※1: 用便、熱中症防止のための補水などのために小休止をおとりください。

15分間までの時間であれば、科目Cの試験時間に影響を与えることはありません。

(15分間を超過すると、科目Cの試験時間に食い込む可能性があります)

2) 4科目連続で受験する場合の推奨例 (エンジニア総合の受験など)

科目 A (55分)	科目 B (55分)	休憩 ※2	科目 C (55分)	科目 D (55分)
---------------	---------------	----------	---------------	---------------

※2: 最大で20分間までの休憩が可能となりますので、用便、補水はもとより、時間帯によっては、軽く栄養補給することも可能です。ただし、会場には喫食スペースがありませんので、ご自身で喫食場所を確保していただく必要があります。

(20分間を超過すると、科目Cの試験時間に食い込む可能性があります)

- ④各科目の試験を所定の時間よりも早く終えた場合、所定の終了時間(55分)を待つ必要はありません。
その科目の試験を終了し、次の試験の開始ボタンをクリックすることにより、前倒しで試験を進められます。
(所定の時間よりも早く試験を終えることができます)